

DAD3350 の一部の製番で発生しているソフト不具合について

不具合の概要

メンテナンスキーを使用し、スプラッシュカバーを開いた状態で軸を動作させようとする、本来であればエラーが発生し軸は動作しない場面でも軸が動作してしまう、という不具合が発生しています。

【お客様へのお願い】

端面修正以外の作業でメンテナンスキーを使用しなければこの不具合は発生しませんので、取扱説明書に安全事項として記されているとおり、メンテナンスキーは端面修正以外の作業では使用しないでください。

不具合の詳細

正常な装置は、メンテナンスキーを右（OVERRIDE 位置）に回した状態でスプラッシュカバーを開いてメンテナンスモードにしても、端面修正画面 [7.1.1]、および軸動作画面 [7.2] 以外で軸を動作させようとした場合、エラーが発生し、軸を動作させることができません。

【正常な装置のメンテナンスモード（例）】

スプラッシュカバーを開いた状態で、ブレード交換画面 [4.1] を表示しようとするエラーになり 軸は動作しない

【不具合を含んでいる装置のメンテナンスモード（例）】

スプラッシュカバーを開いた状態で、ブレード交換画面 [4.1] を表示しようするとブレード交換位置に 軸が移動する

不具合を含んでいる装置は、メンテナンスキーを右（OVERRIDE 位置）に回した状態でスプラッシュカバーを開くと、どの画面が表示されていても全ての軸が動作します。通常であればスプラッシュカバーを開いた状態ではエラーになる場面で、エラーが発生せず軸が動作するため、意図せぬ操作で軸が動作し、思わぬ怪我を負うおそれがあります。

対象製番

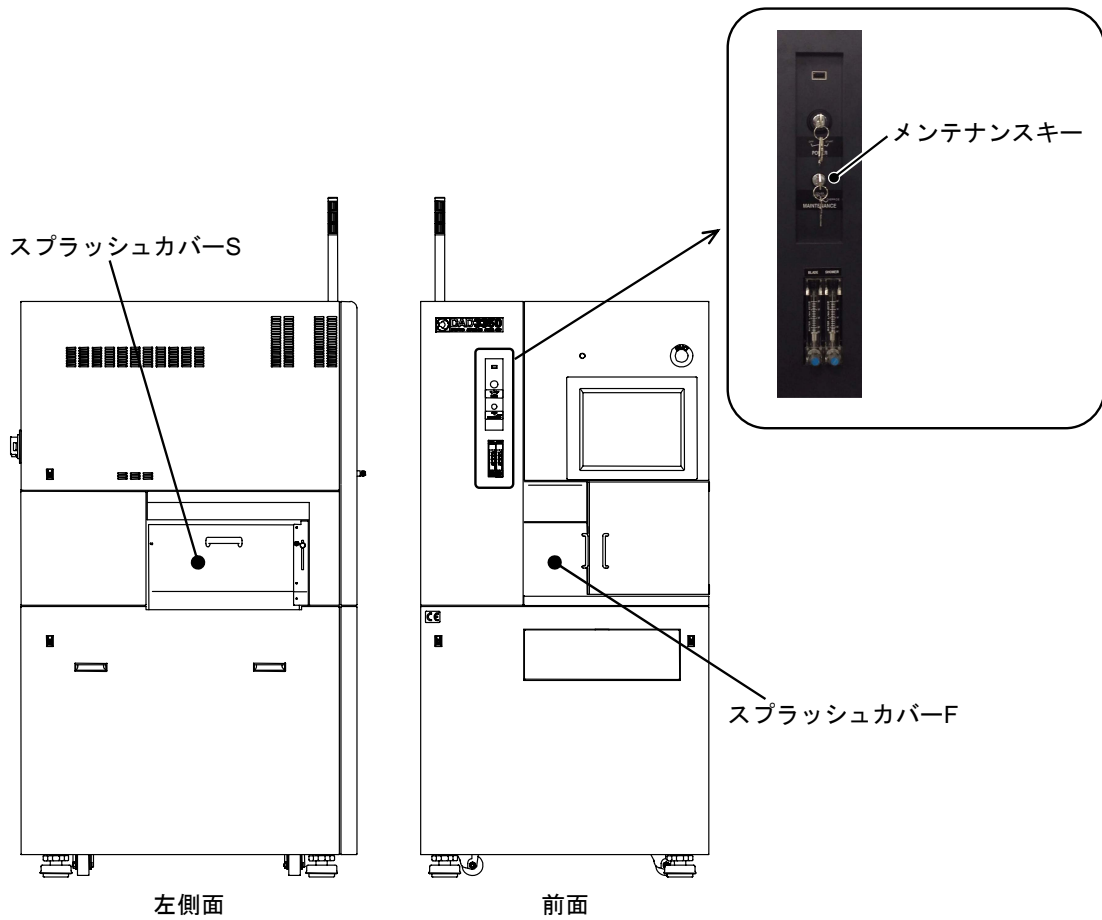
本レターは DAD3350 の下記の製番が対象です。

KB6003
KB6005～KB6030
KB6039～KB6059
KB6062～KB6182
KB6187

不具合ソフトの修正について

弊社カスタマーエンジニアがインストールに伺います。
ご訪問日につきましては弊社営業担当、またはカスタマー担当から別途、ご連絡させていただきます。

メンテナンスキーとスプラッシュカバーの位置



お問い合わせ

本件についてのお問い合わせは弊社営業担当、またはサービス拠点までお願いいたします。
